

河辺林通信

建部北町の森から

2018年10月号No.246

↑綺麗に咲いたキンミズヒキ

かんぽ生命さんからのご寄付

なんと今年、遊林会はかんぽ生命保険さんから100万円の寄付をいただけることになりました。

この寄付金は、かんぽ生命さんの環境保全活動の一環で、「ご契約のしおり・約款」のWeb閲覧数に応じて、森林の育成に取り組む環境保護団体への寄付を行うというものです。この活動は今年で4年目、滋賀県では初の選定になります。

先月、大津の支店で目録贈呈式がありましたので、代表の井田と事務局長の泉で行ってきました。

最初、寄付のお話があった時は正直びっくりでしたが、書類審査、聴き取り調査を経て、改めて選定されることになりました。

遊林会は今年で20年目という節目であり、この年に選定されたのは大変嬉しく、光栄なことです。ありがとうございます。寄付金は里山保全活動の運営費として、また20年間の保全活動で植物たちがどう変わっていったのか、プロの方に植生調査をお願いすることができましたので、その費用などに活用させていただく予定です。



4回目のモリイコ！とモリイコ！S

今回のモリイコ！は「染色」です。

森に生えている「メリケンカルカヤ」という外来種の草で、カバンを染めました。

染色は工程が多く忙しかったですが、一つ一つの工程を丁寧にやってくれました。

午後からは、班に分かれて森たんけんに行きました。少人数での森たんけんは初めてだったので、みんなドキドキだったのかなと思います。もちろん隊長もついていきましたが、ほぼカメラマンだったので、子ども達が自発的に協力してたんけんしてくれていました。今回のたんけんが仲良くなっていて嬉しいです。



↑メリケンカルカヤを蒔いているところ



↑染色したかばんを天日干し

今回の「モリイコ！S」は、「夜の森」です。秋になると鳴く虫がキレイな声で鳴いているので今しか聞けない声を楽しみました。

まずはご飯づくり！ご飯チームとスープチームにわかれてたき火でおいしいごはんをつくりました。おなかいっぱいになったら、森に行く前に森にいる鳴く虫の勉強をしてから夜の森へGO！マツムシをつかまえたり、おしりがぴかぴか光るホタルの幼虫を見つけたり、ライトなしで歩いて見たり、夜の森を楽しみました。



↑たき火でごはん



↑アオマツムシ探し

●9月の作業だより

第2土曜日(9月8日) 16人

①枝拾い班

学校対応が始まる前に、くさはら広場に落ちている危険な枝を拾いました。大きいものもあり、それはのこぎりで切りました。

②危険木伐採班

先台風21号の被害で倒れている木の処理をしました。多人数で処理しましたが、林内はまだまだ倒木がいっぱいです。

③食事班

メインは煮込みハンバーグでした。地場野菜のスープやサラダなどなどおいしい料理がたくさんでした。

木ままクラブ(9月13日)

秋の遠足が始まるので、ファイヤーサークルのふたを組み立てました。その後、林内の倒木処理をしました。

木ままクラブ(9月20日)

梵釈寺での活動でした。台風21号での倒木を処理しました。また、木札のための枝をいくつか集めました。午後の作業は強雨のため中止でした。

第4水曜日(9月26日)

台風21号で倒れた木の処理をしました。その後は、屋外トイレ裏をササ刈りました。午後からも台風被害の木の処理でした。

10月の活動日

10/4 (木)	林内整備 草刈り
10/13 (土)	草刈り 林内整備
10/18 (木)	梵釈寺
10/24 (水)	草刈り

朝9:00~(遅刻可)

第2土曜日は、9:00より

1時間ほど観察会を行います

8月観察会

今月の観察会テーマは「カマキリ」です。

日本にはおよそ13種類、主な種は7種類になります。河辺いきものの森には、オオカマキリ・ハラビロカマキリ・コカマキリ・チョウセンカマキリ・ヒメカマキリの5種類のカマキリがいます。

カマキリは昆虫を食べることが多いですが、オオカマキリは自分より大きなカナヘビやカエルなどのいきものを食べる事もあります。珍しいことではありますが、小鳥を捕食することもあるそうです。

自分を襲う大きないきものを、逆に襲ってしまうというのは、昆虫界のハンターと言われるだけある、カマキリらしいことと言えますね。

綺麗なカマキリのなかには、花に擬態するハナカマキリという種がいます。ハナカマキリはカマキリには珍しい待ち伏せ型の狩りをします。

また、「ニセハナマオウカマキリ」というすごく派手なカマキリや、螳螂拳(とうろうけん)という拳法が存在することを知ることができました。



台風21号の被害

9/4に直撃した台風21号は、森の中に大きな爪痕を残していきました。朝来ると、道沿いの大木が倒れていたり、林内も多く木が被害に遭いました。

学校対応などでクイズラリーのルートが、軒並み被害に遭い閉鎖。何とか倒木を処理したいところですが、素人がうかつに手を出すことの出来ない状況。

何とか閉鎖区域を減らせてきてはいますが、まだまだ元通りには遠い状況です。



↑道にかかった倒木



↑モミジの林の倒木

ボランティアメンバー募集!

遊林会は毎月ボランティアを募って、河辺いきものの森の保全活動をしています。あなたも森のスタッフと一緒に、汗を流しに来ませんか?

作業だけでなく、観察会や美味しいお昼ご飯が待っています!詳しくは遊林会事務局までお問い合わせください。

ボランティアだけでなく

新規会員さんも募集中です!



編集後記

例年にも増してひどい猛暑が続いた夏も、暦の上では終わりを告げ秋になりました。まだまだ猛暑が続いたり、台風が来たりと大忙し。今年は秋が来ないのではないかと感じてしまうほどです。夏の森も飽きないですが、そろそろ秋の森が恋しくなってきましたね。早く涼しくなって欲しいです。望月

【発行者】

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良

〒527-0003

滋賀県東近江市建部北町531

河辺いきものの森内

電話: 0748-20-5211

メール: ikimono@e-omi.ne.jp